経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県　川越市

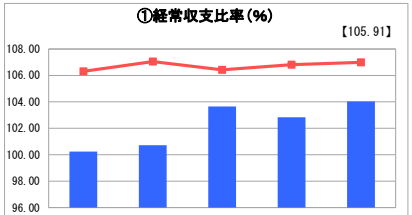
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	81.62	89.06	79.11	1,595

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
352,717	109.13	3,232.08
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
314,227	38.29	8,206.50

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

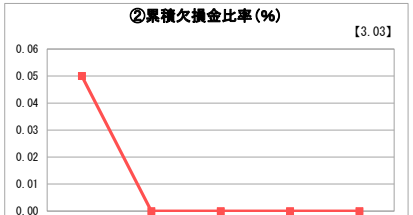
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.91】



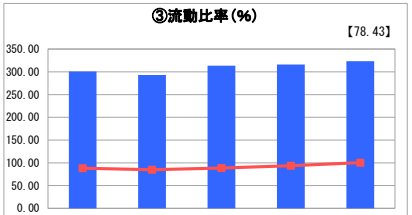
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	100.24	100.72	103.65	102.83	104.03
平均値	106.31	107.05	106.43	106.81	106.99

②累積欠損金比率(%)　【3.03】



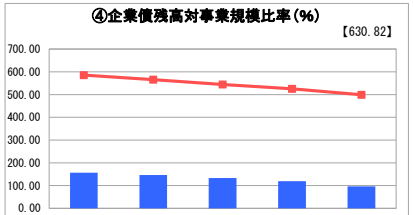
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00

③流動比率(%)　【78.43】



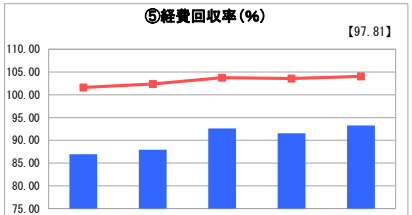
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	300.79	292.90	313.29	316.13	323.16
平均値	88.10	84.84	88.42	93.63	100.41

④企業債残高対事業規模比率(%)　【630.82】



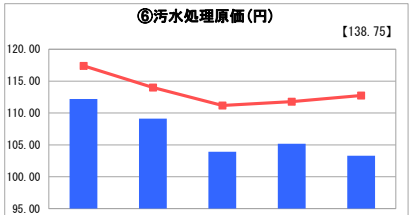
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	156.26	146.39	133.20	119.36	96.88
平均値	585.56	565.62	544.61	525.07	499.16

⑤経費回収率(%)　【97.81】



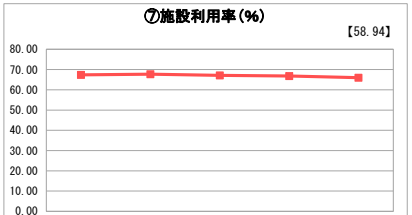
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	86.93	87.92	92.59	91.54	93.25
平均値	101.62	102.36	103.76	103.57	104.04

⑥汚水処理原価(円)　【138.75】



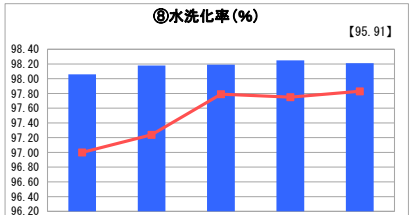
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	112.19	109.11	103.93	105.16	103.28
平均値	117.41	114.01	111.18	111.78	112.75

⑦施設利用率(%)　【58.94】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	-	-	-	-
平均値	67.37	67.71	67.13	66.82	65.98

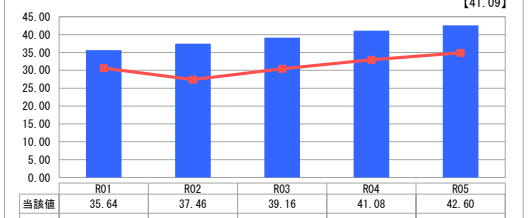
⑧水洗化率(%)　【95.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	98.06	98.18	98.19	98.25	98.21
平均値	97.00	97.24	97.79	97.75	97.83

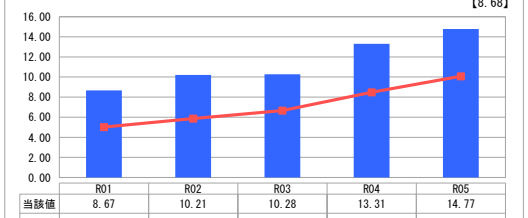
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【41.09】



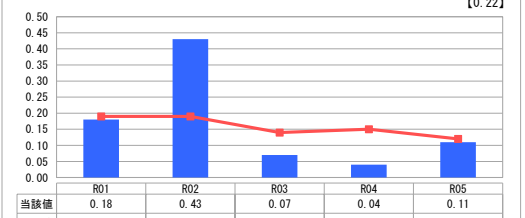
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	35.64	37.46	39.16	41.08	42.60
平均値	30.60	27.39	30.42	32.96	34.91

②管渠老朽化率(%)　【8.68】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	8.67	10.21	10.28	13.31	14.77
平均値	5.02	5.86	6.66	8.49	10.08

③管渠改善率(%)　【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.18	0.43	0.07	0.04	0.11
平均値	0.19	0.19	0.14	0.15	0.12

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
　100%以上で推移していますが、類似団体より低い水準にあります。使用料収入の減少が将来的に予想されることから、指標値が健全な数値となっているか、注視していく必要があります。
③流動比率
　類似団体より高い水準を維持しており、短期的な支払い能力を確保できています。
④企業債残高対事業規模比率
　類似団体より低い水準で推移していますが、今後、必要な更新事業等を実施するための財源として、適切な企業債残高の水準について、世代間負担を踏まえた検証を行う必要があります。
⑤経費回収率
　100%を下回る傾向が続いており、類似団体よりも低い水準で推移しています。今後想定される施設の維持管理等に要する費用を踏まえた適正な使用料水準について検討する必要があります。
⑥汚水処理原価
　類似団体より低い水準で推移していますが、今後、流域下水道の処理単価の見直しが行われることから、費用削減に向け、不明水対策等をさらに進める必要があります。
⑧水洗化率
　類似団体を上回っており、良好な数値となっています。引き続き普及を促進する必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　類似団体より高い水準で推移しており、上昇傾向にあります。施設の老朽化が進みつつあることから、計画的、効果的な償却対象資産の更新や更生が必要です。
②管渠老朽化率
　類似団体より高い水準で推移しており、上昇傾向にあります。これから更新時期を迎える管渠が多く、老朽化率がさらに上昇することが見込まれるため、計画的、効果的に更新等を進めていく必要があります。
③管渠改善率
　近年は類似団体より低い水準で推移しています。今後も老朽化の進行が見込まれるため、計画的に管渠の機能保全を図っていく必要があります。

全体総括

　経営の健全性・効率性については、経費回収率の改善が継続的な課題となっています。また、施設の老朽化が類似団体よりも速いペースで進行しており、保有資産の老朽化対策が課題となっています。
　本市では、不明水の発生が経費回収率や有収率の低下に影響を及ぼしているため、抑制に向けた対策に引き続き取り組む必要があります。また、今後は人口減少に伴い下水道使用料収入が減少していく中で、管渠の耐震化や更生工事に多額の費用が必要になるなど、事業を取り巻く環境は厳しさを増していくものと想定されます。
　以上の状況を踏まえ、令和6年度に「川越市上下水道事業経営戦略」の見直しに取り組んでおり、その中で施設の更新需要や物価変動などの社会情勢、将来的な水需要などを中長期的な視点で反映した実効性のある投資・財政計画を策定し、将来にわたって安定した事業運営を図る必要があります。

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。